

日本溶接技術センター付属日本溶接構造専門学校

阿南睦章教授に聞く

関連学協会と一層の連携を

財団法人日本溶接技術センター付属日本溶接構造専門学校(川崎市川崎区本町)は、溶接技術・非破壊検査技術を基礎として各種「ものづくり」の中



高級技術者を養成する国内唯一の専門学校として知られる。社会ニーズに即応したカリキュラム編成、企業での実践経験が

豊富な教員・講師陣が、実社会の生産現場においてすぐに役立つ知識や技術を講義、実技等で懇切丁寧に教えることに定評がある。今回は、4月1日付で同校・総括教授に就いた阿南睦章氏にその現状と今後の展開を伺った。

「ものづくり」の現場で必要とされる専門知識の習得と総合判断能力の養成に大きな成果を上げている。

現在、就職戦線が厳しさを増しているが、貴校の卒業後の進路実績は特筆されますね。

阿南 最近の入学者は高校、大学卒業後、ないしは社会人など、入学してくる人材は多様化しております。こうしたなかで、在校生の積極的な資格取得とともに、当校を巣立った700人以上の卒業生は、様々な業種・企業に就職または家業を継いでいる。当校の長い歴史、そして日本溶接技術センター内にあるため、関連業界との関係が深く就職率は100%と誇れる実績があります。

今春、着任されたわけですが、ご担当されておられる業務は。

阿南 4月から本校の溶接・検査技術科、設備・構造安全工学科、鉄骨生産工学科に入学した新入生(8人)を対象とし、超音波探傷1座学講義を担当している。一方、私の場合、学校運営のサポート

短期間で受験できることも強み。さらに、当校教員・講師陣は、我が国を代表する企業や研究所・大学などで技術・学術に携わってきたプロフェッショナルな布陣であり、「ものづくり」の現場で必要とされる専門知識の習得と総合判断能力の養成に大きな成果を上げている。

阿南 最近の入学者は高校、大学卒業後、ないしは社会人など、入学してくる人材は多様化しております。こうしたなかで、在校生の積極的な資格取得とともに、当校を巣立った700人以上の卒業生は、様々な業種・企業に就職または家業を継いでいる。当校の長い歴史、そして日本溶接技術センター内にあるため、関連業界との関係が深く就職率は100%と誇れる実績があります。

阿南氏は試験機・計測機器、検査機器メーカーに在籍、長年にわたって計測、非破壊検査関連の業務に従事、それぞれのマーケットに精通している。今回、日本溶接構造

併せて日本非破壊検査協会、日本非破壊検査工業会など関連学協会との連携を一層深めていきたい。

阿南氏の横顔

専門学校の教授に就くことになり、一学校の特色をもっと学外に発信していきたい、存在感を高めていくよう努力したい」と抱まれ、57歳。

協 23年度第1回AN委員会を開催

日 成果報告書の最終調整

日本溶接協会・非破壊試験技術実用化研究委員会(AN委員会、大岡紀一委員長)は4月15日、本部会議室で平成23年度第1回AN委員会を写真

調査として、デジタルラジオグラフィ(DR)に最も関係の深いBAMやドイツ非破壊検査協会(DGZfP)を訪問、これまでのAN委員会の活動状況、DRに関する実験結果について報告

展開を図り、DR、CR等の適用技術の確立と規格化の検討に関し、デジタルラジオグラフィを含めた検討、これに関した使いやすさのハンドブックの作成を検討、基本的に従来の試験、研究を継続して推進していくことを確認し

た。

成果報告書は第1章「まえがき」、第2章「実験に供した試験」、第3章「低エネルギー領域におけるデジタルラジオグラフィに関する実験II」、第4章「RT線源製造・供給の現状」、第5章「デジタルラジオグラフィの規格化

11年度上期 セミナー・講習会の概要】

| 時間 | 受講料 (会費別) | 定員 | 開催時期・場所 | | | | | |
|---------------|--|------|---------|------------------|---------------------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|
| | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 半日 (4時間) | ¥10,000 (¥9,000) | 100名 | | | 27(東京) | 29(大阪) | | 12(東京) |
| 2日 (16時間) | ¥30,000 (¥27,000) | 50名 | | 30-31(東京) | 6-7(大阪) 13-14(東京) | 4-5(東京) 11-12(大阪) | 1-2(東京) 29-30(東京) | |
| 2日 (16時間) | ¥60,000 (¥54,000) | 20名 | | | 1-2(東京) 8-9(大阪) 15-16(東京) | 6-7(東京) 13-14(大阪) | 3-4(東京) 31-9/1(東京) | |
| 1日 (8時間) | ¥30,000 (¥27,000) | 20名 | | | 3(東京) 10(大阪) 17(東京) | 8(東京) 15(大阪) | 5(東京) | 2,8,9(東京) 13-14(大阪) |
| 1日 (8時間) | ¥30,000 (¥27,000) | 20名 | | | 28(東京) 29(東京) | | | |
| 半日 (4時間) | ¥10,000 (¥9,000) | 70名 | | 19(大阪) 25(東京) | | 20(東京) 26(大阪) | | 22(東京) 30(大阪) |
| 1日半 (11時間) | ¥55,000 (¥49,500) ¥70,000 (¥63,000) | 20名 | | | 予定(東京) | | 予定(東京) | |
| 2日 (16時間) | ¥60,000 (¥54,000) | 20名 | | 10月以降 開催予定 | | | | |
| 4日 (32時間) | ¥157,500 (¥147,000) | 20名 | | | | | | 27-30(東京) |
| 5日 (40時間) | ¥260,000 (¥249,000) | 20名 | | 10月以降 開催予定 | | | | |

認定訓練機関に登録申請へ

日本赤外線サーモグラフィ協会(ITA、阪上隆英理事長)は、今秋スタートする日本非破壊検査協会(JSNDI)赤外線サーモグラフィ技術者に対する資格認定制度(NDISO604)に対応、認定訓練機関として登録申請する。

ITAは昨年、赤外線サーモグラフィのセミナー、講習会を受講者の目的・レベルに応じたコース別に開講、多くの実績をあげ市場の要請に応えてきた経緯がある。資格認定制度の開始とともに、サーモグラフィ技術に関する社会的信頼が高まっていくと同時に、今後、様々な産業界で適用、普及していくことが期待されている。同協会では、JSNDIの認定訓練機関として、資格試験に向けた教育支援に尽力し、これまでの分野別セミナー、講習会を充実させ、人材の育成を通じた赤外線サーモグラフィの普及を進めていく考え。